

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

| 分野             | 景気の現状判断                      | 業種・職種                             | 判断の理由          | 追加説明及び具体的状況の説明   |
|----------------|------------------------------|-----------------------------------|----------------|--|
| 家計<br>動向<br>関連 | 良く<br>なっている                  | 観光名所（職<br>員）                      | 来客数の動き         | ・6月の施設利用者数は、前年同月比で6月27日現在<br>で105.8%、3か月前の3月は95.6%で前年度割れで<br>あったが、今年4月以降は前年同月を上回っている。<br>来園者は、修学旅行、大人団体、家族連れが多い。   |
|                |                              | その他のサービ<br>ス〔レンタ<br>カー〕（営業担<br>当） | 来客数の動き         | ・旅行代理店からの送客件数が好調に推移している。<br>また悪天候のせいでマリンレジャー等からレンタカー<br>での旅に変更があり、貸渡件数が増えている。  |
| やや良く<br>なっている  |                              | 百貨店（担当<br>者）                      | 単価の動き          | ・6月中旬に4日間ほど、記録的な長雨により店舗全<br>体として客数及び販売数量が大きく減少したが、それ<br>を除く6月中においては継続的に天候安定したことも<br>あり、5月に不振であった主力衣料が回復、またデイ<br>リー性の高い生鮮食品も順調に動いたことから月間<br>において全館売上が前年同月比+3%、客単価+7%と<br>好調に推移している。これは天候の安定もあるが、去<br>年度の月中2度にわたる台風の影響を払拭できたこと<br>が大きな要因である。 |
|                |                              | スーパー（財務<br>担当）                    | 販売量の動き         | ・クールビズのおかげで、かりゆしウェアの売行きが<br>良い。  |
|                |                              | 家電量販店（従<br>業員）                    | 販売量の動き         | ・6月の記録的な豪雨もあり除湿機、洗濯乾燥一体型<br>の売行きがかなり好調である。客足もかなり好転して<br>きている。  |
|                |                              | その他専門店<br>〔楽器〕（経営<br>者）           | 来客数の動き         | ・観光客の増加で、県内の需要も少しずつ回復してい<br>る。4月以降も前年より売上が微増している。  |
|                |                              | 観光型ホテル<br>（商品企画担<br>当）            | 単価の動き          | ・夏のトップシーズンを迎え、稼働率自体は90%を超<br>えるため昨年とほぼ同じ見込みであるが、販売単価は<br>若干上がっており、傾向は上向きである。   |
|                |                              | 観光型ホテル<br>（営業担当）                  | 来客数の動き         | ・修学旅行を中心に来客数が増加している。中国のデ<br>モの影響で沖縄に変更した修学旅行もある。   |
|                |                              | ゴルフ場（経営<br>者）                     | 来客数の動き         | ・商品であるゴルフコースの質の向上に伴って、利用<br>人数は増加している。   |
| 変わらない          |                              | スーパー（企画<br>担当）                    | 販売量の動き         | ・前年比100%前後と売上高が堅調に推移している。  |
|                |                              | コンビニ（エリ<br>ア担当）                   | 単価の動き          | ・商品の単価は数字的には変わらないが、中身は格段<br>にボリューム、レベルアップしており、実質は値下げ<br>になっている。しかし、それが今では当たり前なの<br>で、価格追求の厳しさは一段と増している。  |
|                |                              | コンビニ（経営<br>者）                     | 来客数の動き         | ・来客数は減少しているが、客単価が増加しているた<br>め、変わらない。   |
|                |                              | 都市型ホテル<br>（スタッフ）                  | 販売量の動き         | ・観光客の入込も順調で修学旅行を含め来客数は多い<br>が、ここ3か月は伸び率はほぼ横ばいである。  |
| やや悪く<br>なっている  |                              | コンビニ（経営<br>者）                     | 競争相手の様子        | ・商圏内で4月に新装開店したスーパーの影響を受<br>け、売上が前年比で4%減少している。  |
|                |                              | 住宅販売会社<br>（従業員）                   | 来客数の動き         | ・この先の不安からマイホームの取得時期を延期、ま<br>たは断念せざるを得ないなどの声が出てきている。さ<br>らに、決断しても親の介入で慎重になるケースも増え<br>ている。   |
|                |                              | 住宅販売会社<br>（経営者）                   | 競争相手の様子        | ・公共工事の端境期で競争相手の倒産が相次いでい<br>る。また公正取引委員会の調査があり業界の動きが鈍<br>い。  |
| 悪く<br>なっている    |                              | 商店街（代表<br>者）                      | 競争相手の様子        | ・市場の中は観光客が多いものの、地元の客は交通の<br>便などで総合的に便利な郊外店に流れている。  |
| 企業<br>動向<br>関連 | 良く<br>なっている<br>やや良く<br>なっている | -                                 | -              | -  |
|                |                              | 建設業（経営<br>者）                      | 受注量や販売量<br>の動き | ・受注量及び受注金額、双方とも増加している。   |
|                |                              | 輸送業（総務担<br>当）                     | 受注量や販売量<br>の動き | ・新規受託業務もだいが慣れてきて作業が早くなり、<br>請負金額も安定している。   |
|                |                              | 通信業（営業担<br>当）                     | 受注量や販売量<br>の動き | ・価格競争の中での受注で、利幅は薄いが増え量が全<br>体的に増えた。  |
|                |                              | 不動産業（支店<br>長）                     | 受注量や販売量<br>の動き | ・問い合わせ件数や成約件数がわずかではあるが伸び<br>てきている。   |

|          |           |                      |         |  |
|----------|-----------|----------------------|---------|--|
|          | 変わらない     | -                    | -       | -  |
|          | やや悪くなっている |                      |         |  |
|          | 悪くなっている   |                      |         |  |
| 雇用<br>関連 | 良くなっている   | -                    | -       | -  |
|          | やや良くなっている | 人材派遣会社<br>(経営者)      | 求人数の動き  | ・派遣先からの追加依頼や、契約終了予定のものが契約の再更新、また新規依頼に変更となり、派遣業務が少し活発に動くようになっている。   |
|          |           | 学校 [ 専門学校 ] ( 就職担当 ) | 求人数の動き  | ・IT関連企業の求人を中心に増加傾向にある。また、人材不足なのか1次募集が済んでも2次募集を予定している企業がある。   |
|          | 変わらない     | 求人情報誌製作会社 ( 営業担当 )   | 求人数の動き  | ・大手製造業の求人が安定したのか少なくなり、全体的にみれば横ばいの状態である。  |
|          |           | 職業安定所 ( 職員 )         | 求人数の動き  | ・新規求人数は3か月前比 ( 2月 )、3584人で4.2%減である。雇用形態等でみると一般求人は2810人、構成比81.8%、3か月前比 ( 2月 ) 0.9%増、パート求人は625人、構成比18.2%で3か月前比 ( 2月 ) 8.9%減である。5月の新規求人数を産業別に3か月前比 ( 2月 ) でみると建設業、運輸業、金融・保険業、不動産業、サービス業で増加している。一方、製造業、情報通信業、卸売・小売業、飲食店・宿泊業、医療・福祉業、教育・学習支援業が減少している。有効求人倍率は0.52倍で3か月前比 ( 2月 ) 0.58倍) 0.06ポイント低くなった。就職件数は3か月前比 ( 2月 ) 18.4%減である。 |
|          | やや悪くなっている | 学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )   | 雇用形態の様子 | ・ますます契約社員の雇用が増加している。先行きの見込みが不安である。   |
|          | 悪くなっている   | -                    | -       | -  |